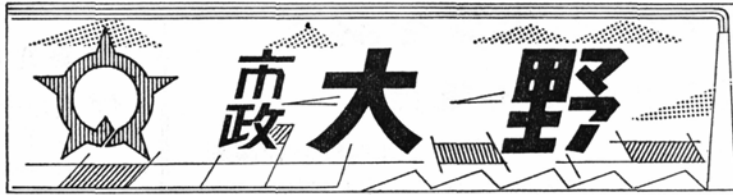


発行
福井県大野市天師町1番1号
大野市役所
電話(代) 6-1111
郵便番号 912
印刷 松浦印刷所



12月の人口の動き

出生	男 25	女 26	計 51
死亡	男 26	女 9	計 35
転入	男 36	女 32	計 68
転出	男 56	女 80	計 136
世帯数	10,045		
人口	43,174		
男	20,698	女	22,476

市議会議員選挙 清き一票を投じよう

14日投票、即日開票

任期満了による市議会議員の一般選挙は、2月4日に告示され、14日に投票、午後8時から市役所で即日開票が行なわれます。

今回の定員は、昭和42年10月に定められた「市議会議員の定数を減少する条例」により30人から26人に減ります。

この選挙は市長選挙とともに、市民にとって最も身近な選挙です。市政を直接に左右し、市民生活への影響はきわめて大きいことはいままでもありません。

あなたの目で、耳で、よく確かめ、よく考えて、今後4年間の市政を託すのにふさわしいりっぱな人を選びましょう。

投票は午前7時から 25の投票所で

市選挙管理委員会は今回の選挙で、2つの投票区を廃止し、市内の投票区は25になりました。嵐を第15投票区(投票所、下打波小学校)へ、宝慶寺を第11投票区(投票所、木ノ本分校)へ、それぞれ編入したためです。

投票は、次の投票所を除いて、14日の午前7時から午後6時までです。

▷緑り上げする投票区

- 投票は13日午前7時～午後4時
- 第15投票区＝下打波・嵐
- 第16投票区＝上打波

▷時間変更する投票区

- 投票は14日午前7時～午後4時
 - 第14投票区＝東勝原・西勝原・第一発電所・第二発電所・仏原
 - 第20投票区＝南六呂師
- 入場券は8日ごろまでに区長さんを通

じて各家庭へ配布します。

なお入場券は、コンピューターを利用してつくるため、今回からカナ書きになります。

もし、氏名、住所、生年月日など記載事項に誤りがありましたら、市民課までご連絡ください。

選挙浄化を呼びかける委員たち



ことは、市議会議員選挙をかわきりに、4月に知事・県議会議員選挙が、6月に参議院議員の選挙が予定されており、選挙の年といえます。

大野市は「明るく正しい選挙の実践市」を宣言しており、市議会も昨年12月の定例議会において「明るく正しい選挙」の宣言を決議しています。単なる呼びかけや歌い文句に終わらないよう、市民一人一人が主役(主権者)であることの自覚と、立候補者や運動員の方たちの良識ある行動によって、その実現に全力を注がなければなりません。

選挙浄化三ない運動を推進

青年団・婦人会・区長会などの代表者からなっている「大野市明るく正しい選挙推進協議会」では選挙に備えて、「大野市選挙浄化三ない運動」への真剣な取り組みを決めました。

それによると、①おくらない、②もらわれない、③もどめない。——を目標にして次のようなことをそれぞれの地域、団体、職場、あるいは家庭で、自主的に実行してもらおうことになりました。

1、正しい選挙運動の徹底

▷非民主的な方法による地区推薦はやめる。▷張り番や尾行はしない。▷狩り出しや戸別訪問はしない。

2、金のかからない選挙の推進
▷買収・供応を追放する。▷選挙事務所では酒を出さない。▷陣中見舞は贈らない。

3、自主投票の確保
▷積極的に投票に参加する。▷自由な意志で自覚ある一票を投じる。▷義理人情で投票しない。

立候補者に明正選挙の宣誓を

明るく正しい選挙推進協議会の中にこの運動の推進母体として「選挙浄化三ない運動推進本部」を設け、各関係機関・団体とよく連絡をとって、次のような強力な運動を展開することになりました。

▷新有権者に対して政治意識を高めるよう強く働きかける。

▷学校に協力をお願いして、教育の一環として、明るく正しい選挙を推進する
▷立候補者に対して明るく正しい選挙の宣誓をもとめる。

▷各選挙事務所の入口に選挙浄化宣誓の看板を立てることを要請する…など。

あなたが主役
明るく正しい選挙を

44年度歳入歳出決算を認定

第123回臨時市議会

第123回臨時市議会は1月19日開かれ、「昭和44年度大野市歳入歳出決算の認定について」など3議案を審議し、いずれも原案どおり可決・承認して閉会しました。

認定された ①大野市歳入歳出決算

◇昭和44年度大野市歳入歳出決算◇ 単位千円

	予算額 (歳入・歳出)	決 算 額		差 引 (④-③)
		③ 歳 入	④ 歳 出	
一般会計	1,482.459	1,270.645	85.7%	△194.335
特別会計 (7会計)	319.275	324.839	101.7%	22.608
総 計	1,801.734	1,595.484	88.6%	△171.727

◇昭和45年度西谷村歳入歳出決算◇

一般会計	475.203	266.305	56.0%	259.602	54.6%	6.702
特別会計 (2会計)	7.001	2.953	42.2%	1.023	14.6%	1.930
総 計	482.204	269.258	55.8%	260.625	54.0%	8.632

②昭和45年度西谷村歳入歳出決算の総額は下表のとおりです。①の内容は、昨年7月発行の財政公表でお知らせしております。なお、下表のうち西谷村の予算額と決算額の差が大きいのは、合併により年度途中で打ち切られたためです。

母と子の健康増進に

母子保健推進員40人を委嘱

市は母子保健事業の一環として、1月14日、40人の母子保健推進員を委嘱しました。推進員は市役所と連絡をとりながら、妊娠婦の家を訪問し、▷妊婦届けの勧め、▷健康診査の相談、▷各種予防接種の相談、▷妊娠中毒症に対する療養の相談にあたるほか、自発的な相談にも応じて、母と子の健康増進に関する仕事をします。

また2月1日から保険衛生課内に相談室を設け、これらの相談や成人病などの相談をお受けすることにしたので、せいぜいご利用ください。

母子保健推進員 (敬称略)

大宮千枝子(泉町)、山田こひさ(水落町)、南部ふじえ(本町)、加藤さき(篠座町)、岸本紀子(大和町)、酒田うめの(春日1丁目)、鳥山としを(春日2丁目)、田中きみえ(春日3丁目)、中川文子(月美町)、坪内好子(月美町)、内田敏子(中野町1丁目)、田中きよ子(中荒井2丁目)、氏家さだ(中荒井3丁目)、植村房子(中挾)、高山美江(西大月)、村上ひな子(南新在家)、竹田とみ子(友江)、

酒井啓子(中挾)、山田ひろ子(御給)、田口おりを(友兼)、笹島希子(西山)、森永瑞子(医王寺)、山田恵智子(中村町) 斎藤時枝(下掘)、柵美容子(上掘)、福田よしえ(牛ヶ原)、南部千賀子(中丁) 篠地澄子(上舌)、佐々木さなえ(阿難祖地頭方)、永田房子(新庄)、帰山よしの(蔵生)、松田芳野(塚原)、松田嘉代子(新河原)、村下智恵子(下麻生島)、常見幸子(土打)、砂田由美子(不動堂)、水上総子(裏道)、九頭竜賀代子(柿ヶ島) 経岩文子(橋爪)、幅内久子(上打波)。

初代市長の 斎藤重雄氏ご逝去

初代大野市長をつとめられた斎藤重雄氏は、1月15日、老衰のため泉町の自宅で死去されました。88歳。

氏は旧大野町長、大野輸出羽二重工業組合長などを歴任され、地方自治、地元産業の発展に貢献されました。ここに市民のみなさんとともにつつしんでご冥福をお祈りします。

縦覧は2月5・6日

選挙時登録の名簿

選挙人名簿の登録は、毎年9月1日現在で調整する定時登録と、選挙ごとに調整する選挙時登録があり、いずれも選挙管理委員会の職権で登載します。

今回の選挙でも、定時登録者のほか、次の条件にあてはまる人は、2月3日を基準日として選挙時登録をされます。

この名簿の縦覧を2月5・6日の両日市選管事務局(市役所内)で行ないます。時間は午前8時30分から午後5時まで。

該当者は名前がのっているかどうか確かめましょう。

選挙時登録で名簿にのる人

①昭和26年2月15日以前に生まれた人で
②昭和45年11月3日以前から住民基本台帳に登録されている人

(市外から転入した人は、その届けの日が、昭和45年11月3日以前であること)



25

石灯笼地藏尊

天正4年(1576年)金森長近は越前大野城の構築に着手すると同時に、大野城下町の建設計画をたてました。

基点は一番町、石灯笼かどにとり、5町四方(約29.7㍍)にわたって道路通水・町方屋敷の測量を行ない、京都にならって東西・南北ともに6条の城下町をつくりました。



当時 龜山山麓に約400戸の武家屋敷があり、城下町の戸数は600戸内外でした。基点には測量なわや器具を収め、地藏はさつ直祖神一体を安置しました。

その後毎年にごやかな祭礼が行なわれましたが、明治21年の大火で、地藏尊は一時洞雲寺に移され、昭和7年にもとの場所にかえりました。このゆいしょある地藏尊は、市街地整備のため昭和45年12月に、龜山山頂の金森長近公銅像近くに移されました。

(写真は地藏尊のお精入れの式)



成人おめでとう

市は1月15日の成人の日に、男363人、女388人、計751人の新成人をお招きして市民会館で成人式を行ないました。

この日は、冬には珍しく快晴に恵まれ、会場は晴れやかな「若さ」でいっぱい。たくさん

の来賓もお祝いに出席され、式典、講演、記念撮影、成人感想文の発表や、大野工業高校生徒の太鼓、喫茶・ダンスの「お好みコーナー」の楽しい催しもあり、新成人のみなさんは、おとなとしての自覚と責任を、かみしめていたようです。

なお、感想文入賞者は次のみなさんです。

- 〔入選〕 兼井昭子 (今井・地方公務員)、山崎終子 (中挾・会社員)、加藤達雄 (中津川・公社員)。
- 〔佳作〕 山田重信 (柿ヶ島・公務員)、坪内和夫 (南新在家・学生)。

(写真は喫茶コーナーでいこう新成人)

若い力を期待

市長 寺島利鏡

成人されたことを心からお祝いします。一九七〇年代は国内・国外ともに歴史の転換期といえます。みなさんの若い力を、この転換期を乗り切り、新しい未来を創造する原動力です。健康に留意してがんばってください。

量産の態勢できる

イチゴ(加工場)が完成

市や農協は米の転換作物として、イチゴを有望視し、奥越地方をイチゴの特産地にしようと力を入れています。

この一環として、大野市・上庄・勝山市の3農協で結成している奥越イチゴ振興協議会が、工費1,580万円をかけて昨年11月から月美町に建設を進めていた加工場と苗冷蔵施設は、ほぼ完成しました。

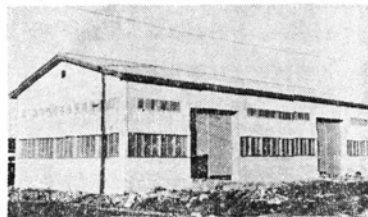
加工場は、鉄骨平屋建て、面積194平方メートル。3月末ごろには機械も備えられ、5月下旬ごろとれるイチゴから加工を始めます。1シーズンの処理能力は約500トン。

一方、二期作用の苗を保管する冷蔵施設は、月美町の大野市農協の倉庫を改造したものです。ことし3月末ごろ初めて5日分、約30万本の苗をこの施設に入れ、8月下旬まで保管します。この苗を9月上旬に植え付けると、10月末に収穫できるわけです。

イチゴの出荷は、これまで生食が主でしたが、栽培面積をふやそうと、昨年8月食品メーカーと契約し、加工用にも力を入れています。

こうして量産する態勢も整い、市や農協は今秋には奥越で約100畝、このうち

大野市で75~80畝に普及する計画です。



ほぼ完成したイチゴの加工場

市消防署は昨年1年間の火災および救急統計をまとめました。火災状況を見ると件数、焼失面積、損害額とも、過去10カ年平均より少なくなっていますが、前年と比べるといずれも多くなっています。件数は前年より7件多い23件で、約16日間隔で1件発生したことになります。建物の焼失面積は1,367平方メートル(前年の2.5倍)。損害見積り額の合計は約2,584万円(前年の約5倍)で、1件当たりの損害額は112万3,000円となり、全国各都市の平均124万円よりやや少なくなっています。

原因別では、①たばこ4件、②煙突・煙道4件、③たき火3件、④石油ストーブ2件の順です。

また、工場火災が4件あり、損害額が

約2,584万円が灰
昨年の火災統計から

1,205万円と50畝を占めていることから、今後は工場などを重点に消防訓練の実施、消防設備を完全にするよう指導すること、「119番」への早期通報を徹底して火災を少くしたいといっています。

ふえる救急車の出勤

救急車の出勤は231件。実際に救急したのは181件の201人で、前年より22件ふえています。救急の内わけは、1位交通事故64件、2位急病49件、3位一般負傷21件、4位運動競技20件、5位労働災害15件、その他12件。

月別では、①10月の29件、②1月の28件、③12月の23件、少ないのは4月の11件。傷害別にみると、死亡9人、重傷49人、中傷87人、軽傷56人となっています。

国税の証明は

2月中旬までか、4月以降に

2月16日から3月15日までは、所得税の申告時期で、税務署は大変混雑します。国税の納税証明は、今月中旬までか、4月以後にのぼせるものは、のぼしていただくようご協力をお願いします。

道路の水まきに注意

||||| ||| ||| ||| ||| ||| |||

気温がさがりこおる恐れのあるときに道路に水をまくことは法律で禁じられており、事情によっては道路交通法違反で検挙される場合があります。

それは、まいた水がこおり、人がころんだり、車がスリップして危険なためです。冷え込みは当分続きますので、じゅうぶん注意してください。

このほか、①交通の妨害となるような方法で、みだりに雪を道路に捨てたり積んだりすること。②道路でたき火をすること。③道路で車を洗うことなども禁じられています。

スマイル

「野菜高値」

捨てたもんじゃないでしょう

—大根足
コーナー

